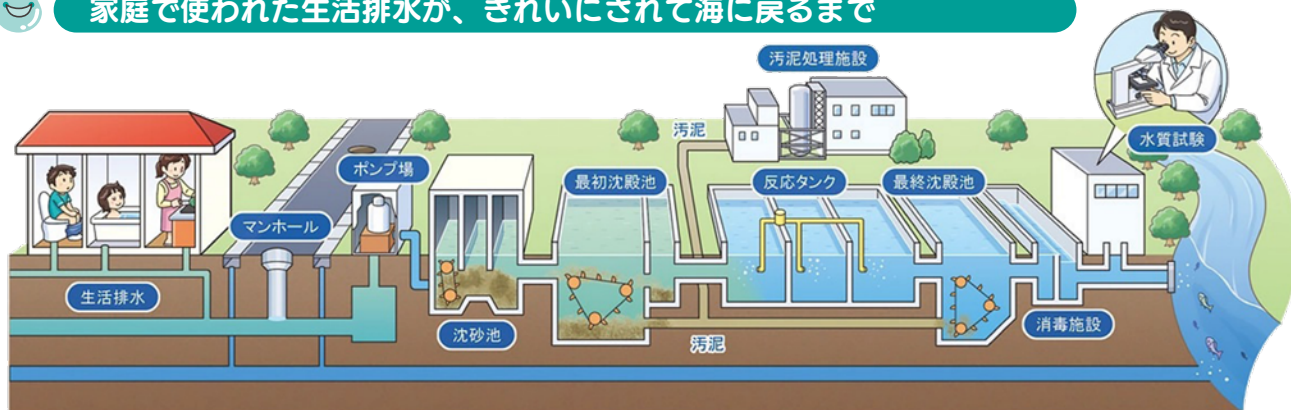




家庭で使われた生活排水が、きれいにされて海に戻るまで



本市の水道・下水道事業について

《安全な水道水をお届けしています》

水源の水や水道水の水質については定期的に検査を行っており、国が定める水質基準値(PFOSおよびPFOAを含む)をすべて満たしています。市独自の検査も併せて行い、安全を確認していますので、安心して水道水をご利用いただけます。



水質検査結果
(市 HP)



《油や異物を下水道に流さないで》

台所から流れた油は下水道管の中で冷えて固まり、詰まりの原因になります。トイレに流したウェットティッシュ等が原因の詰まりによる故障も多く、維持管理費の増加につながっています。また、詰まり等が原因で下水道管が破損すると、道路陥没の危険も生じます。



天ぷら油をわずか 20ml 流しただけでも、魚が住める水質に戻すには、お風呂 20 杯分に当たる 6,000ℓ ものきれいな水が必要になります。油は新聞紙等に吸わせて、燃えるゴミとして捨てましょう。



下水道
Q&A
(市 HP)

《水道・下水道施設の更新が必要です》

市内には水道管約 430km、下水道管約 275km のほか、浄水場や下水処理場等、多くの施設があります。こうした施設は老朽化が進んでおり、今後、計画的に更新を進めていく必要があります。

みなさんからいただく水道料金・下水道使用料で支えられています

Q 水道や下水道は税金で運営しているの？

A 税金ではなく、利用するみなさんからいただく「水道料金・下水道使用料」で運営しています。ただし、消防や雨水対策等、みなさんの安全を守るためのものには税金も使われます。

Q 水道料金や下水道使用料は何に使われているの？

A 日々の水道水の給水や汚水の処理、施設の維持管理のほか、古くなった施設や水道・下水道管を地震に強いものに更新するために使われています。

Q どうして古い管を取り換える必要があるの？

A 古くなると、漏水や道路の陥没等につながるおそれがあるため、計画的に新しくしていく必要があります。

Q 昔に比べて料金や使用料は高くなっているけど、収入は増えているの？

A 人口が減少したことや、社会全体で節水が定着したこと等により、水道の使用量は減少しており(昭和 59 年度比 62%)、収入はあまり増えていません。一方で、燃料費や材料費等は上昇しており、これからの運営はますます厳しくなると考えられます。

将来世代に健全な事業を引き継ぐため

人口減少にあわせた施設再編(ダウンサイジング)等、様々なコスト削減の検討を行います。財源の確保に向けては、国庫補助金等を活用していくとともに、なお不足する財源については、適正な料金・使用料の水準を検証し、必要に応じて見直しを図っていきます。

将来

